

科目名 Course Name	倫理学 Ethics				ナンバリング No.	A2-018	
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	廣澤 圭則						
連絡方法	質問等は授業終了後、あるいはC-Learning で対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と 到達目標	<p>哲学、東洋思想を中心に、古典から近代までを講義形式にて実施する。</p> <p>① 本授業を通して、自分の考えを自身の言葉で述べるができるようにする。</p> <p>② 東洋思想について、深い教養と洞察を身に着けることができるようにする。</p> <p>③ 東洋哲学を学ぶことによって、従来とは異なる生き方、価値観を学習できるようにする。</p> <p>④ 哲学という正解の存在しない問題に対する解決能力を養うことができるようにする。</p>						
授業の方法	<p>パワーポイントを用いた講義形式にて授業を行う。</p> <p>補足教材として、レジュメを授業毎に配布する予定。哲学と絡めた歴史の講義も並行して行う。</p> <p>生徒諸君の理解度を図るため、期末試験に該当するプレゼンテーション発表を実施する。</p>						
学習成果	L01	社会人、職業人において必要とされる、思考力、問題解決能力を養うことができる。プレゼンテーションを通して、自らの思想、哲学を述べるができる。					
	L02	哲学的思考を学ぶことで、多面的な視点、思考を身に着けることができる。自分の考えを、自らの言葉で、明瞭に述べるができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	授業について質問があった際はメールまたは文書にて各自フィードバックする。						
教科書/ 参考図書	なし						
履修上の留意点 やルール等	<p>① 折を見て質問を投げかけるので、生徒諸君は質問に回答できるようにしておくこと。</p> <p>② チャイムが鳴った後の遅刻は原則認めず、減点対象とするので注意すること。</p> <p>③ 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。</p>						
担当教員の実務 経験	<p>●実務経験(職種:サービス業 職歴:15年)</p> <p>(科目名:倫理学) 民間企業における管理職経験から社会人になる生徒諸君が自分で考えたことを、自分の言葉で話せるよう、講義を通して導いていく。</p>						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業に参加する積極的態、こちらからの質問に対して自身の意見を明瞭に述べられた場合は満点とする。		15		
レポート/作品	出欠確認も兼ねたレポートを提出してもら。授業に対する理解が反映されていた場合、既定提出回数に到達した場合は満点とする。		15		
発表	プレゼンテーションを実施してもら。発表内容と質疑応答について、自身の考察が明瞭かつ論理的に述べられていた場合は満点とする。		20		
小テスト	授業の理解度を示すため、適宜実施する。		5		
試験	ペーパー試験を実施。出題された内容について、論理的、明晰に回答できた場合は満点とする。	45			
その他					
合 計		45	55		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(学習成果、成績評価等についての説明)、講義内容についての事前案内
	事前・事後学習	授業開始に向けて、インド、中国、日本の哲学を自分なりに学習しておくこと
2	授業内容	インド哲学① 『ヴェーダ』の成立とウパニシャッド哲学、ブラフマンとアートマン
	事前・事後学習	ウパニシャッド哲学について、その概念を予習しておくこと
3	授業内容	インド哲学② 釈迦の生涯とその哲学、四諦八正道、三法印
	事前・事後学習	ブッダの思想について、その概念を予習しておくこと
4	授業内容	インド哲学③ 龍樹と空思想、般若心経、インド仏教の衰退
	事前・事後学習	空思想について、自分なりの解釈を述べられるようにしておくこと
5	授業内容	西洋哲学 犬のディオゲネスとコスモポリタニズム、東洋との近似性
	事前・事後学習	ディオゲネスのコスモポリタンについて、自分なりの解釈を出しておくこと
6	授業内容	中国哲学① 春秋戦国時代と諸子百家、孔子と仁礼、墨子と兼愛
	事前・事後学習	仁と礼について、その概念を予習しておくこと
7	授業内容	中国哲学② 孟子と性善説、韓非子と性悪説、仁政と法治
	事前・事後学習	性善説と性悪説について予習し、その長所と短所を考えておくこと
8	授業内容	中国哲学③ 老子と荘子、道家と無為自然、『胡蝶の夢』と存在
	事前・事後学習	道家思想について、自分なりの解釈を述べられるようにしておくこと
9	授業内容	中国哲学④ 唐太宗と貞観の治、『貞観政要』における君主論
	事前・事後学習	唐太宗がなぜ中国屈指の名君と呼ばれたのか、その理由を考えておくこと
10	授業内容	日本哲学① インドにおける密教とその哲学、空海と真言密教
	事前・事後学習	ブッダの頃の仏教と密教の相違点を考察しておくこと
11	授業内容	日本哲学② 鎌倉時代と末法思想、親鸞と悪人正機
	事前・事後学習	悪人正機について、自分なりの解釈を述べられるようにしておくこと
12	授業内容	日本哲学③ 禅、達磨大師と歴代禅師たち、栄西と公案、非論理と悟り
	事前・事後学習	禅の境地とはどのようなものか、自分なりに考えておくこと
13	授業内容	講義の振り返り、復習
	事前・事後学習	これまでの授業で不明だった点、復習してほしい点について考えておくこと
14	授業内容	学生によるプレゼンテーション①
	事前・事後学習	プレゼン発表者は事前準備をしておくこと
15	授業内容	学生によるプレゼンテーション②
	事前・事後学習	プレゼン発表者は事前準備をしておくこと